

# 8月の県内景況は、厳しい状況が続くも、消費税増税の影響は収束か。

情報連絡員による平成26年8月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は16.7%（前月比-3.6）となっており、「横這い」は30.0%（同+6.3）、「低調」とするところが53.3%（同-2.7）、業界全体の「景況感DI」は-36.7（同-1.1）となっています。

### 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「在庫数量」「取引条件」「収益状況」の項目において前月と比較して減少しています。

### 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、食料品製造業、木材木製品製造業、卸売業、小売業、商店街、運輸業は「大雨」または「雨」、鉄工機械製造業、その他の製造業、サービス業は「薄曇り」または「曇り」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、23.4%（前月比-0.4）と減少しております。好転、やや好転の見込みとの回答が16.7%（前月比-5.3）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答10件）（製造業6、非製造業4）。また、変わらないが、60.0%（前月比+5.8）と増加しております。

平成26年8月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-14.29	-14.29	0.00	42.86	-14.29	-28.57	0.00	0.00	28.57	0.00	-28.57	-57.14
繊維製品製造	66.67	66.67	0.00	-33.33	0.00	33.33	0.00	33.33	-33.33	-33.33	0.00	33.33
木材木製品製造	-75.00	-100.00	-50.00	-50.00	-50.00	-100.00	-50.00	-50.00	0.00	25.00	-50.00	-100.00
鉄工機械製造	-40.00	0.00	0.00	20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00
その他の製造	-28.57	-42.86	0.00	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29
卸売業	0.00	-25.00	0.00	-25.00	0.00	0.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-50.00
小売業	11.11	22.22	11.11	44.44	-11.11	-33.33	11.11	-11.11	0.00	-11.11	-44.44	-33.33
商店街	0.00	0.00	-33.33	0.00	-16.67	-33.33	-16.67	-16.67	-33.33	-16.67	-66.67	-66.67
サービス業	-14.29	-42.86	14.29	28.57	-14.29	-42.86	-28.57	-42.86	-14.29	-28.57	-28.57	-28.57
建設業	-20.00	20.00	0.00	60.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	40.00
運輸業	-100.00	-33.33	0.00	0.00	-33.33	-100.00	-33.33	-100.00	0.00	-66.67	-66.67	-66.67

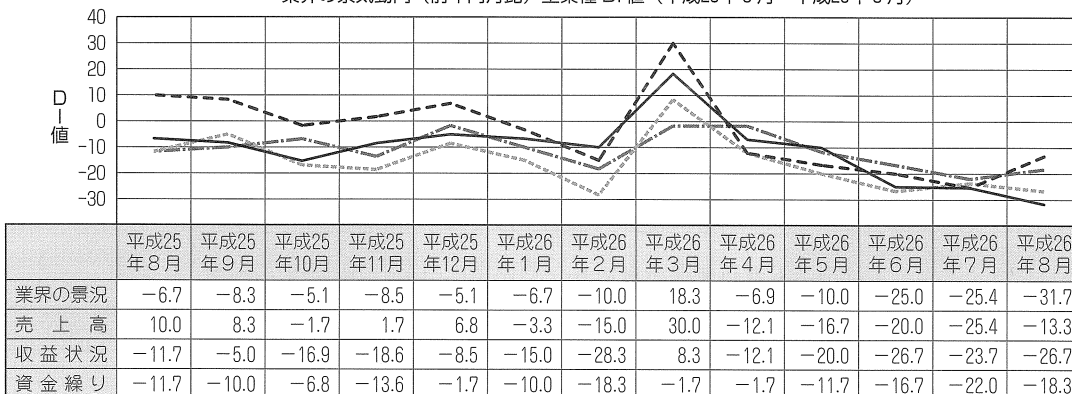
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（DI値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

#### DI値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすくもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成25年8月~平成26年8月）



## 食料品製造業

### <漬物>

消費税のアップ時点より、業界全体は悪化している。特に天候の異変により野菜が高く、浅漬業界は厳しい。また円安が進み、包装業界、電気料、運賃等の値上げにより、利益が出ない状況にある。国としては、円安誘導により、大手企業が良くなれば良いと思っているとされるが、中小企業はますます厳しさが増している。

### <味噌醤油>

贈答用セットものは今ひとつである。4月より消費税が上がったため、3月の駆け込み需要があったものの、昨年並みの出荷数量となっている。昨年度も出荷量が大きく減少したため、震災前の数量には、ほど遠い出荷状況である。

### <乾麺>

7月末から暑い日が続いたため、8月上旬の台風により天候不順となり、前年割れの状況が続く。

### <酒造>

売上は減少中。なかなか前年数量をクリアできない。吟醸・純米も良くない。金賞受賞数日本一でも売上が伸びなければ意味がない。市場はシビアで厳しい。

### <食品団地>

原料、原油は相変わらずの高止まりで、売上にも影響が出ている。さらに求人募集をしてもなかなか集まらず、雇用の面に関しても厳しい状況にある。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

秋冬物生産の最盛期に入って一時的な人手不足になっている。

### <縫製品>

秋冬物の生産が本格化しており、受注量も前年以上の量が確保されているようだ。しかし受注量の見合った作業者の確保ができておらず、人手不足は深刻である。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

丸太の出材は少なめで推移しており、一方製材工場は露木に仕入れを絞った影響で在庫が少ないことから、丸太の引き合いは旺盛である。住宅着工に伴う製品需要は、消費税増税以後の反動減から脱しておらず、受注や製品の荷動き回復は先になる見通しである。

### <外材輸入>

先月に引き続き製材品の需要は低迷したままであり、盆休みを増やす等生産調整を継続しているが好転のきざしは見えていない。

## 紙・紙加工品製造業

### <紙器・段ボール>

紙器業界の消費税の動向について調査してみると、「消費税の駆け込み需要に変化がない」「多少アップした」「駆け込みは3月時多少あった。4月以降は大きく落ちることがないが、先行き市況が読みにくい」「4月以降その動きが見られ、そのまま5、6、7、8月に回復が見られない」「大企業と中小企業との差がますます広がりをみせている」などと聞かれる。消費税10%が実施されたらどうということになるのかという声は各方向でかかれ、厳しい現状である。

## 印刷業

### <印刷>

8月に入り稼働率など仕事の動きがかなり低調に感じられた。9月以降、秋口の需要期に期待するところ。

## 窯業・土石製品製造業

### <陶磁器>

7月に引き続き8月も客足が低調だ。

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約1.7%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約18%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約12%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事等への出荷で増となっている。

### <生コン>

平成26年8月の組合員生コン出荷数量は、136,161 m<sup>3</sup>と対前年同月比7.9%の減。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比7.9%の増、官公需が14.5%の減であった。

#### ■民需の動向

対前年同月比 7.9%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 0.8%の増

南東北病院管理等建築工事、物流センター、斎場新築工事等

<白河地区> 10.4%の増

新白河信金ビル建築、太陽光メガソーラー建設工事等

<相双地区> 43.9%の増

原発保安対策、広野火災消波ブロック工事、常磐道浪江地区舗装工事等

<会津地区> 18.6%の増

老人福祉施設建設、会津中央病院増築、ウィンドファーム建設工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 1.0%の減

工場新・増築工事、物流倉庫増築工事等

<いわき地区> 16.0%の減

ヨークベニマル上荒川店新築、県漁連冷凍冷蔵施設建設工事等

#### ■官公需の動向

対前年同月比 14.5%の減

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 64.6%の増

R115馬館山トンネル、国見町庁舎建設、布川地区橋梁下部工工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 8.1%の減

郡山市中央公民館改築、環境創造センターA棟新築工事等

<白河地区> 10.7%の減

白河中央中学校建設、白河市民文化会館建設工事等

<いわき地区> 37.2%の減

小名浜港追悼地区岸壁復旧、中部浄化センター建設、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 7.9%の減

海岸保全施設整備工事、減容化施設工事等

<会津地区> 37.6%の減

復興公営住宅工事、西会津小建設工事等

## 鉄鋼・金属・一般機械製造業

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高、収益状況とも前月比で横ばい傾向で、前年同月比でもあまり変動はない。一方、見積もり引き合いはやや好転状況にあるが、受注につながるかは不透明な状況である。

## 卸売業

### <卸売業>

(県中地区)

全体としては、前月に比べて大きな変化はなかった。ただし、盆以降は天候不順が続いたため、飲料品等の売上に多少の落ち込みがあった。建築資材は引き続き値上がり基調。コンクリート等の土木製品もここにきて値上がりしている。メーカーからの一方的な価格提示に従わざるをえなく、それを転嫁できずにいるため、利幅を圧縮するケースも。人出不足については、多くの卸業者が認識しているところではあるが、復興以降の景気動向が読めないため、採用に慎重になっている企業もある。

### <再生資源>

8月は、猛暑と局地的な豪雨、西日本では大雨による未曾有の災害が発生し、全国的に再生資源原料の減少は続いている。秋には各古紙メーカーの工場ライン増設で、処理能力がアップするため、原料古紙のパイの取り合いが予想され、一時的に価格に反映すると思われるが、発生量が増加しない限り業界としての収益アップにはつながらないと思われる。

## 小売業

### <共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

8月は前月比、売上・来店客数ともに顕著に伸び、前年比も売り上げ・来店客数とも若干の伸びになった。テナントが閉店セールを実施して、売上の下支えとなりました。次月から1店閉店となり、集客等でマイナス要因があり全体的な売上・客数が減ることが予想される。9月は創業祭で不安要素の巻き返しを図りたいところ。

(県中地区のNショッピングセンター)

消費税アップ後の売上回復が組合員ごとにはばらつきがある。全体としては、何とか売上の減少を食い止めている状態であると思われる。

### <石油>

8月元売仕切価格は徐々に低下し、小売価格も連動して若干低下して、一方本来需要増となる8月のガソリン出荷量は全国ベースで過去10年間で最低となり需要の減少に歯止めがかからない状況にある。

### <青果>

8月の取扱については、盆前までは前年同様、動きがあったが盆明け、西日本を直撃した豪雨の影響で品薄状態となり、単価は倍となり、年末時期の価格より高くなった。消費者の動きにも影響した。果物においても前年と比べ取扱は減となった。来月から始まるきのこの取扱が今年も放射能の災害で影響がでるものとみる。単価も少し落ち着くことを期待したい。

### <電機>

猛暑も失速気味でエアコンの動きが悪い。全体的に在庫(エアコン)の残りが出そうだ。9月、10月の合展、個展に期待。

## 商店街

### <福島市>

8月は全体的に低調。昼はそれなりに、夜は静かな街だった。下旬には、若干持ち直した感じがしたが、お盆期間中は、例年と比較して人の動きが少なく感じた。県外のお客様が減少し、震災前に戻ってしまった印象を受ける。

### <郡山市>

8月は商店街のイベントが3つあり、特にうねめまつりは第50回ということで、例年以上に盛況だ。メイン会場の駅前大通りは、いつもより早い時間から通行止めになり、様々なイベントを行い、来場者は過去最大級になった。前月比、前年比ともに増加になったのはイベントのおかげなので、これで景気回復になったとはまだ言い難く、9月の動向が鍵になるかと思われる。

### <南相馬市>

にぎわい補助金を活用した地域活性化事業に取り組んでいるが、さすがに9月に入ってからは、お客様の動きも止まり、低調。車の往来が多い。

### <会津若松市>

夏祭りのイベントがあったが、子供中心での内容だったので、にぎやかではあったが、売上にはつながらなかった。平日に関しては暑さのため、日中の人出が少なかった。

### <いわき市>

8月の恒例「平の七夕祭り」も好天に恵まれ、多くの人出でにぎわった。今年は台風・大雨などの悪天候も少なく、平均して街にお客様がいらしていたように感じる。後半は残暑もゆるみ、朝晩涼しくなったせいか、秋物ファッション関連の動きが早いようだ。本格的な秋の訪れを皆、心待ちにしている。

## サービス業

### <クリーニング>

この低調は季節的要因ばかりでない。風評被害も続いていてその上消費税アップとダブルパンチで消費者は節約ムードでクリーニングに出さない傾向が増えている。

### <旅館業>

(土湯温泉)

バイナリー発電事業が工事着工となり、日本各地から問い合わせ、視察の申し入れが事業会社へきている。現在NPO法人土湯温泉観光まちづくり協議会が再生可能エネルギーニューツーリズム商品として商品開発中であり、これが観光地の活性化と宿泊観光客の増加につなげてゆきたいと考えている。また、土湯温泉観光協会が9月5日～10月13日にかけて芸術祭を開催する。

### <理容業>

前半は連日の猛暑で夏向きのメニューが好調だったが、お盆のころから後半は雨続きや天候も良くなり中だるみであったが、おおむね昨年並みの状況のようだ。少しずつではあるが、若い人たちに高単価のメニューも売れ始めているが、シルバー層の安売店利用が増えているようで、アベノミクス効果はまだまだサービス業には届いていない。消費増税の影響も少しはあると思うが、景気が良くならなると理容のみならずサービス業全体に活気がなく地域が元気にならない。

### <廃棄物収集運搬業>

災害業務については減少しており、今年度中に終了

の見通し。組合正規の業務についてはほぼ順調に推移している。

## 建設業

### <建設業>

(県一円)

7月単月の県発注工事の総額は約185億円、うち約125億円は沿岸部の相双・いわき地区の工事。(県南地区)

建築工事は増加しているが、土木工事が減少している。除染業務で使用するフレコンバック、山砂、碎石が不足している。特にフレコンバックが入手できずに業務がストップしている現場が若干ある。

### <管工事>

前月比で給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

### <専門工事>

寒暖を含め天候が不安定になり、日差しは暑く、気温は上がりず突然激しい雨が降る、といった状況に悩まされる月であった。また、県知事選の動向がはっきりしない一方で、中間貯蔵施設の受け入れが決定する

等、進路を定められたはずの船が実際にどちらに向かうのかに対して不安な状態が続いており、経営的に余談を許さない状態にあるように思われる。新卒者採用の道は相変わらず厳しく、弱小企業にとっては悩ましい状態が続いている。

## 運輸業

### <トラック運送>

(県北地区)

8月はお盆休暇もあり、稼働日数少なく売上は減少する。その要因を除けば売上は横ばいで推移している。燃料費も高止まりではあるが、安定してきている。今後は運賃引き上げ交渉により、収益減少に歯止めをかけていくしかない状況である。

(県中地区)

野菜の出荷量の減少により、輸送量が減った。燃料費、人件費高による運賃の値上げについては、荷主の理解がだいぶ得られている。

### <ハイヤータクシー>

企業等夏休みの関係で8月は減少傾向にはあるが、落ち込みが激しく、厳しい状況である。

## 県政トピックス

2014. 10

### 第10回医療機器設計・製造展示会&最新技術セミナー

## メディカルクリエーションふくしま2014

最新技術セミナーの募集を開始いたしました!!

### ※「メディカルクリエーションふくしま2014」とは

福島県が平成17年度から開催している県内のものづくり企業等による医療機器の部品、技術を展示するとともに、最新の技術セミナーを併催する医療機器関連の展示会です。今年は節目となる10回目の開催となります。

このたび、各種セミナーの募集を開始しました。皆様の御参加をお待ちしております。各セミナーとも定員がございます。

※ **日 時** 平成26年**10月29日(水)**、**30日(木)**

※ **会場** **ビッグパレットふくしま** (郡山市)

※ **セミナー** ○日本初の医療機器産業支援施設「**福島県医療機器開発・安全性評価センター(仮称)**」の**最新情報**を紹介する特別企画のほか、各種セミナーを実施(海外展開セミナー・人材育成セミナーなど)

○セミナーのほか、**医療機器開発に関する各種無料相談窓口**を設置

※ **出展者** ○国内外から200以上の企業・団体

※ **主催** **メディカルクリエーションふくしま2014実行委員会**  
(事務局：一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構)

※ **参加申込み** ○展示会 **入場無料・申込み不要** \*当日は名刺を2枚お持ちください。

○セミナー **入場無料・事前申込制**

○締切り **平成26年10月3日(金)**

お申込み・詳細はWebで↓

<http://www.fmdipa.jp/mcf/exhibit/>

※ **お問い合わせ**

一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構

電話番号 024-954-4014